学校番号	216

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解 世界史Ａ　（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人類の始まり～近代までの世界史を学びます。
・ICT 教材など様々な資料を活用して親しみやすい授業になるように工夫します。
・基礎的な知識の定着をはかるために、小テストなどを実施します。
・表現力向上のため、発表活動を実施します。

2　学習の到達目標

・様々な資料に親しみ、人類のおこりから文明の発展、近代世界へのつながりを理解することができる。
・世界史の内容をもとに、現代社会の諸問題を探求する。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、主体的に考えて生きていく力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史に対する関心と課題意識を高め、現代の国際社会を主体的に生き、自覚を持とうとしている。	現代の世界を理解するために、日本の歴史と関連づけて多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 レポート	定期考査 ワークシート 発表活動	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人類の始まり	・人類の登場と，農耕・牧畜による食料生産を基礎にして,各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	○		○	○	【a】人類の発生・進化の過程や農耕・牧畜による食料生産革命，文明の成立などについて関心を高め，意欲的に考えようとしている。 【b】人類の登場，食料生産革命，文明の成立などについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】人類の登場，食料生産革命，文明の成立などに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】先史時代について把握し，基本的知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
	東アジアの文明	東アジアの風土と諸民族，封建制度，漢字文化圏，儒教思想，律令体制，文治主義，冊封体制などを通して，日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。	○	○		○	【a】東アジアについて関心を高め，意欲的に考えようとしている。 【b】東アジアの風土・生活・思想などについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】東アジアの風土・生活・思想などに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】日本を含む東アジアの文明の特質を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	
	南アジアの文明	南アジアの風土と諸民族，カースト制，仏教，ヒンドゥー教，イスラームの影響などを通して，南アジアの文明の特質を理解する。	○	○		○	【a】南アジアについて関心を高め，特質について考えようとしている。 【b】南アジアについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】南アジアの文明形成に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】南アジアの文明の特質を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	
	東南アジアの文明	自然環境や地理的位置に着目し，インドと中国のはざまにあるため，両文明の影響を受けながら，それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジアの特質を理解する。	○	○		○	【a】東南アジアについて関心を高め，特質について考えようとしている。 【b】東南アジアが独自の文化を生み出したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】東南アジアに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】東南アジアの特質を把握し，基本的知識を身につけている。	

	西アジア・北アフリカの文明	西アジア・北アフリカの風土と諸民族，オリエント文明・イラン文明の伝統にふれ,基層となる西アジアの特徴を把握し，イスラームの成立と拡大・分裂などを通して，西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	○	○		○	【a】西アジア・北アフリカについて関心を高め，特質について考えようとしている。 【b】西アジア・北アフリカが，さまざまな民族により形成され，拡大したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】西アジア・北アフリカが，さまざまな民族により形成され，拡大したことに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し，基本的知識を身につけている。〃	
2学期	ヨーロッパの文明	ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の発展，封建社会などを通して，ヨーロッパの文明の特質を理解する。	○	○		○	【a】ヨーロッパの風土・生活・文化などについて関心を高め，ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考えようとしている。 【b】ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】ヨーロッパに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】ヨーロッパの文明の特質(ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の発展，封建社会など)を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
	南北アメリカの文明	南北アメリカ大陸の風土と先住民にふれ，ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。	○	○		○	【a】南北アメリカの大陸の風土と先住民，独自の文明に対する関心を高め，特質について考えようとしている。 【b】南北アメリカの文明の特質を考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】南北アメリカの文明の特質に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】南北アメリカの文明の特質を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	

	ユーラシアの交流圏	ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に，諸地域間の交流が進み，ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し，相互の文化受容の進展について理解する。		○	○	○	【a】ユーラシア交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域（都市や港市）のネットワークに対する関心を高め，意欲的に追究し，考えようとしている。 【b】ユーラシア交流圏について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】ユーラシア交流圏に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】ユーラシア規模ネットワークを把握し，基本的知識を身につけている。〃	
	繁栄するアジア	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ，この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に，文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	○	○		○	【a】アジアの諸帝国に対する関心を高め，その特色について考えようとしている。 【b】アジアの諸帝国の特色について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】アジアの諸帝国の特色に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】アジアの諸帝国の特色を理解し，その知識を身につけている。〃	
	大航海時代と新たな国家の形成	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ，この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に，文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	○	○		○	【a】16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカに対する関心を高め，意欲的に考察しようとしている。 【b】16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカとの関係について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカとの関係に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】ヨーロッパではルネサンスと宗教改革，新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され，アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと，またアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを把握し，その知識を身につけている。〃	

3学期	ヨーロッパとアメリカの諸革命	アメリカ諸国の独立，フランス革命，産業革命，拡大する貿易活動などを通して，西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し，市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	○		○	○	【a】18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことについて考えようとしている。 【b】18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命を考察し，過程を適切に表現している。 【c】18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に関する資料を収集し，適切に活用して，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察する技能を身につけている。 【d】18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について理解し，その知識を身につけている。〃	定期考査 ワークシート
	自由主義・ナショナリズムの進展	19 世紀後半のヨーロッパ，アメリカ社会を通して，自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。	○			○	【a】1848 年を以降，自由主義とナショナリズムが進展したことに対する関心を高め，意欲的に追究し，考えようとしている。 【b】1848 年を以降の自由主義とナショナリズムについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 【c】1848 年を以降の自由主義とナショナリズムに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 【d】1848 年を以降，自由主義とナショナリズムが進展したことを理解し，その知識を身につけている。〃	

※ 上記の内容については、生徒の理解度や興味関心に応じて、一部変更する場合がある。

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。